

# 市民生活の安全・安心の確保

## ひとり親家庭に対する支援事業

母子家庭等を対象とした市営交通料金福祉措置を見直し

- ・自立支援・就業支援サービスの提供に重点をおいた実効性の高い事業を実施
- ・受益者負担の公平性及び経済状況を考慮した負担軽減措置の実施

- 病児病後児保育事業の充実 ( ②⑥ 5,000万円)
  - 訪問型病児保育モデル事業の実施
  - 訪問型及び施設型における、ひとり親家庭の利用料の1/2減免(所得制限を設定)
- 障がい児入所施設療育機能強化事業 ( ②⑥ 1,900万円)
  - 障がい児入所施設における療育の受け皿の確保を図ることによって、集中的・専門的な療育機能を強化
- ひとり親家庭サポーター事業の拡充 ( ②⑥ 4,300万円)
  - ひとり親家庭サポーターを増員し、各区役所で週2回、相談窓口を開設
  - 区役所の相談日に来所できない方に対して、訪問相談等により対応
- ひとり親家庭等日常生活支援事業の拡充 ( ②⑥ 2,500万円)
  - 修学や就業など自立のために必要な事由で利用の場合、利用時間数の拡大
  - 恒常的な残業等の場合でも利用できるよう、利用目的の範囲を拡大
- 保育所保育料への寡婦(夫)控除等のみなし適用 ( ②⑥補正 歳入 △3,500万円)
  - 未婚のひとり親について、税法上の寡婦(夫)に該当するものとみなして保育所保育料を軽減

# こどもたちを安全・安心に生み育てることができる取組み

すべての子育て家庭が安心と喜びを実感しながら、こどもを生み育てられるよう取り組む  
特別なケアを必要とする児童に対応するため、阿武山学園のさらなる機能強化

## ○こどもや妊婦の健康を支える取組みを引き続き実施

□ こども医療費助成 ( ㉔ 73億5,800万円)

- 中学校修了までのこどもを対象とした入・通院に係る医療費を助成

□ 妊婦健康診査 ( ㉔ 22億7,400万円)

- 国の示す標準検査項目の実質無料化

## ○阿武山学園（児童自立支援施設）の機能強化

**補** ■ 観察寮の設置 ( ㉔補正 1,200万円)

- 特別なケアを必要とする児童のために、施設内に観察寮を設置
- 非行防止プログラムや行動・感情・対人スキルトレーニングを提供し、再非行防止を促進
- 平成26年度・・・基本設計、旧寮舎の解体撤去
- 平成27年度中・・・開寮予定